

9月5日(月)

私たちが必要なもの全て

聖書朗読 IIペテロ1:3~9

私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

ピリピ4:13

自分の能力にそぐわないと思われることをやらなければならなくなったことはありませんか。子どもたちが小さい頃、妻と私はクリスマスイブの日の夜遅くまでクリスマスのプレゼントを組み立てました。(実は組み立ては苦手です。) どうにか組み立てたものの部品が少し残ってしまいました。

しかし、たとえ私に苦手なものがあったとしても、神様は必要なもの全てを私たちに与えて下さっていると仰っています。ペテロの2通目の書簡に感謝します。ペテロは神様が私たちの人生の全ての必要と信仰を与えて下さっていると書いてます! 足りないものは一つもないのです。私がどんなにクリスチャンとして足りない者だと思つたとしても、神様は私たちに必要な全てを備えて下さっているのです。

私たちをご自分の栄光であり卓越したものと呼んでくださる神様の知識を通して、それを与えてくださいます。神様とは実際どういうお方なのかを見せてくださり、現実の世界でイエス様のように生きるとはどういうことなのかを見せてくださったのがイエス様です。

この世の罪から逃げ出して 神様の御手の中で生きることをさせてくださるというすばらしい約束をくださいました。その約束の一つが、復活であり、神様の御臨在の中で永遠に生きることです。なんとワクワクすることでしょう!

讃美歌 513

祈り 親愛なる主よ。あなたを喜ばせるのに必要な全てのものを与えてくださりありがとうございます。自分自身の弱さに焦点を当てあなたの力を忘れてしまいがちです。あなたの赦しとキリストにある恵みとあなたがくださった素晴らしい約束をありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

J・リチャード・トンプソン

2022年9月5日~9月11日

翻訳 ハンコック・真由美
(コールドスプリングスキリストの教会)

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月6日 (火)

お 譲 り 会 (無料)

聖書朗読 Iヨハネ 5:1~12

今の世で富んでいる人たちに命じなさい。高ぶらないように。また、たよりにならない富に望みをおかないように。むしろ、私たちにすべての物を与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。

Iテモテ6:17~18

おもちゃ、書籍、衣服、靴、シーツ、ガラス用品、台所用品が、コミュニティーセンターのたくさんのテーブルに並べられていました。不要になった人たちから寄付されたものです。家具は、駐車場に置いてありました。

道路脇と駐車場とドアには大きな「無料」と書かれた看板を置きました。人々は、様子を見ながら駐車場に入ってきてくれました。無料を書いているものはあるものの、実際は料金がかかったり、どこかでお金がかかるのではないかと疑っていました。

遠慮がちに「本当に無料なのですか。」と確かめてきました。そこで私たちは、「ぜんぶ無料です。」と答えました。「無料なんて！」としばらく信じられないというような当惑顔をしながら、品定めをしています。教会から訪問者全員に、お菓子の入った小さな袋と手紙が渡されました。気に入ったものを見つけて喜ぶ人たちの顔を見て私たちボランティアは素晴らしい満足感を味わいました。

あの日を思い出すたびに「無料」という言葉が頭の中を駆け巡るのです。イエス様が私たちにくださっているものも「全て無料」であると思わせてくれます。恵みも平和も赦しも限りのない愛もくださいました。究極的には永遠の命をくださいました。全て「無料」でくださったのです。

讃美歌 533

祈り 親愛なる神様。私たちがたくさんの祝福を受けるために、あなた様の大切なひとり子が私たちのために死んでくださったことに感謝いたします。最大の祝福は、あなたとともに生きる永遠の命という希望です。

あなたの親愛なるひとり子のお名前によってお祈りいたします。

アーメン。

スー・レイサム

9月7日 (水)

血 によ っ て 清 め ら れ る

聖書朗読 黙示録1:1~8

また、忠実な証人、死者の中から最初によみがえられた方、地上の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安が、あなたがたにあるように。イエス・キリストは私たちを愛して、その血によって私たちを罪から解放し、

黙示録1:5

「血」は洗い流すものです。洗う時に使うものではありません。感染のリスクを最低限に抑えるために、血という有機物に触れるのはなるべく避けようとしてします。私たちが肉を焼くとき、血が消えるのを目安に時間を調整します。医学会では、専門家は血に触れる可能性のあるときは、いつも保護用の手袋をはめます。私たちの文化では、血は避けられるものです。

しかし、聖書ではキリストの血で洗うことが度々ほめられたえられています。ヘブル書では、「その血は、どんなにか私たちの良心をきよめて死んだ行いから離れさせ（ヘブル9:14）と書かれていて、イエス様の血が私たちの罪を洗い清め、私たちの心に平和をくださるものと示されています。クリスチャンたちは、救い主の血のイメージにおじけずくことはありません。私たちはそれを受け入れます。そればかりではなく、弟子のペテロは「キリストの尊い血」（Iペテロ1:19）と言っています。

私たちの信仰の逆説はなんと素晴らしいのでしょうか。生きるために死に（新生）、高く上げられるためにお仕えし、私たちはイエス様の血で洗われます。それは、それは真の意味で雪よりも白くなるためです。

讃美歌 521

祈り 主なる神よ。日々キリスト様の血の力に感謝するように助けてください。どのようにして神の犠牲が私たちに救ったのかをはっきりと認識させてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ケリー・ウイリアム

9月8日(木)

親戚大集合

聖書朗読 黙示録 21:1~7

わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えにいくのです。わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたもおらせるためです。

ヨハネ14:2~3

そこには誰がいるでしょうか。文句ばかり言うてる老婦人？うるさいあの子？タトゥーやピアスだらけの若い女性？大きな新車に乗り邸宅に暮らす嫌味なあの人？必要なことを説教しない伝道者？わたし？あなた？

世界に福音を伝えるようにイエス様が選んだ人たちを考えてください。職業が漁師だったり、敵のために働く税務署職員だったり、自分たちがいい地位に着くようにお母さんに掛け合ってもらった2人の兄弟、暴力的な政治的過激派のユダヤの熱心党員でローマ人とユダヤ人の協力関係にことごとく逆らっていた人。

来週、礼拝に出席するとき、讚美することを一旦止めて周りを見てください。どの人が天国に行くか想像してみてください。あなたは、兄弟姉妹をあの人はずばらしい、でもあの人はずっとなあと考えてみていませんか。神様は誰も愛おしい思いで見下さっています。どうか、神様が私たちを見るように、愛を持って周りの方々を見ていきましょう。

ユダヤ人としてではなく、ギリシャ人としてではなく、奴隷としてではなく、自由人としてではなく、男性が支配するのでもなく、女性が支配するのでもない、神様が支配なされる。神様が天国で私たちをご覧になられるとき、私たちは全員神の子です。この世で欠点や弱点のある者をお互いに愛し合い、お互いの存在を楽しむように努めましょう。そして、いつの日か神様が私たちを見るように、お互いを見ることができると信じましょう。

讚美歌 534

祈り 天の父よ。あなたご自身が誰と一緒に永遠に住むのか決めるのだと理解し感謝することができますように。あなたに迎え入れていただけるようなタイプの人になり、愛し合いお互いの存在を楽しめるように助けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ウィアム・T・マッコーン

9月9日(金)

命を受け取る

聖書朗読 Iコリント15:12~19

ところで、キリストは死者の中から復活された、と宣べ伝えられているのなら、どうしてあなたがたの中に、死者の復活はない、と思っている人がいるのですか。

Iコリント15:12

死から逃れることはできません。死は個人的な出来事です。死は大変重要です。なぜならば、地球における存在と周りの方々との人間関係とこの世での楽しみが終わることだからです。それは、悲しみとこじれた人間関係と老いが終わることでもあります。生きることは辛いことであっても、ほとんどの人は死で問題を解決するよりは生き続けることを選びます。なぜでしょう？それは単に生きていたいと言う深い願望があるからです。友人が自身の年老いた母親のことをこう話してくれました。「母は年をとって、病も重く、体はボロボロ。すっかりボケてしまっている。でも母は生きようとしている。」

福音、つまりはキリストのよき知らせの基本的な部分は、一人の人が死んでよみがえりもう二度と死ぬことはないということです。彼のよみがえりは、人々に信仰と神様の恵みに満ち溢れた人生をもたらしてくださいました。その恵みによって、私たちは生きているのです。その恵みによって私たちは死ぬのです。そして、その恵みによって私たちは再び生きもう二度と死ぬことはないのです。

キリストにあるなら、私たちは生きることに固執することも戦うことも不要です。神様は生きることを永遠のものとして私たちにくださいました。神様があなたに勧めてくださっている命を受け取ってください。あなたの中にある神様の命を毎日確認しましょう。神様はあなたに与えてくださった命は、永遠で無くなることのないものです。

讚美歌 352

祈り 父よ。ただあなたの恵みにより私たちは永遠の命を与えていただきました。永遠の命の思いで満たしてくださいあなたへの愛と権威に感謝いたします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スティーブン・S・レムリー(編集者)

9月10日(土)

本当の権威

聖書朗読 士師記4:4~14

主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのです。あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。

ヨハネ13:14

状況を把握し、管理し、指示する。これをしていたのがデボラでした。旧約聖書の英雄です。私たちはこう思うことがあります。学校やら家事やら日々の仕事やらに追われている時、「デボラみたいになりたいものだ。彼女は重要な仕事をしていて。誰もが彼女を知恵者だと認め、みんな彼女に従順だった。」彼女の名声が羨ましいです。

フランシス・シェーファーは著書「ノー・リトル・ピープル、ノー・リトル・ブレイス」の中で「大切なことは一つだけである。神様の前で一瞬一瞬が聖なる人になることだ。」デボラのような人もいし、無名の貧しいやもめやコップ一杯の水をくれるやもめもいます。神様は神様のみこころを行おうとする人を使ってくださいます。神様は従う人をお選びになるのです。

あなたにはデボラのような名声があり、様々な誘惑の多い高い地位についている人なのかもしれません。そういうあなたは、従順な心で神に従うべきです。あなたはインタビューされることもカメラを向けられることもない無名の人かもしれません。そういうあなたは、従順な心で神に従うべきです。従順に従うことは難しいことです。裕福で有名などの人より権威のある神様への厳しい証です。

私たちは心を見ておられる正義の神を礼拝します。今日あなたが誰かに差し出すカップ1杯の水、おにぎり、裁判、科学的発明などが神の聖霊で満たされますように。

讃美歌 II 26

祈り 神様。従順さを持って自分の指導力を生かしたデボラのような女性がいたことであなたをあがめます。私たちもあなたをあがめるような影響を他の人たちに与えることができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エミリー・Y・レムリー (編集者)

9月11日(日)

二つの国

聖書朗読 創世記25:19~24

「兄が弟に仕える」と彼女に告げられたのです。「わたしはヤコブを愛し、エサウを憎んだ」と書いてあるとおりです。

ローマ9:12、13

イサクは不妊のリベカのために祈りました。まもなく2人の兄弟がお腹の中でぶつかり合うようになりました。リベカは困惑しました。どういうことなのでしょう。

神様は2つの国が胎内にあり、息子の1人がより強くなり、兄が弟に仕えるとお答えになりました。最初に生まれたエサウは赤く毛むくじゃらでした。弟のヤコブは生まれる時にエサウのかかをつかんでいました。

聖書には不思議な出来事がありますが、この双子の誕生もそうです。なぜ神様から約束された兄弟がいがみ合うことになるのでしょうか。なぜ神様は2人のお母さんのお腹の中で敵同士を作られたのでしょうか。

しかし、憎しみ合うこの兄弟の和解のエンディングをも作られたのです。人間関係が崩れてしまっても直すことができないと思っても、和解が可能なのです。

神様のなさることは私たちの計算を超えています。ヤコブとエサウの和解は私たちも和解できるのだと希望を持たせてくれます。神様は、修復し癒してくださいます。それがなされた時、私たちは驚きをもってそれを経験することになります。

新聖歌 257

祈り 全能の主よ。アブラハムとイサクとヤコブとエサウをありがとうございます。彼らはイエス様と救いのストーリーの一部です。

キリスト様のお名前によって。アーメン。

フロリダ州 クリアウォーター
スティーブン・クラーク・ゴード